

V 調査票

令和7年度「男女共同参画に関する市民意識調査」 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、富山市では、男女が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いながら、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現に向けて、「富山市男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな取り組みを行っています。

本調査は、無作為に選んだ満18歳以上79歳以下の市民の皆様から、男女共同参画に関する意識や実態、ニーズをお伺いし、その結果を「第3次富山市男女共同参画プラン」及び「前期実施計画」を策定するための基礎資料とするとともに、今後の施策に反映させることを目的としています。

お手数とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、ご回答いただきました内容は統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することはありません。

令和7年8月

富山市長 藤井 裕久

ご回答方法について

以下の「1. 調査票による回答」または「2. Webによる回答」のいずれかの方法を選択し、調査対象者ご自身が回答してください。

1. 調査票による回答

- ◆ ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- ◆ 調査票は、必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送ください。

2. Webによる回答

- ◆ URL または2次元コードからアクセスしてください。
(回答サイト URL)

令和7年 9月10日(水) までにご返送（ご回答）願います。

【お問い合わせ先】

- 調査委託先（この調査は一般財団法人北陸経済研究所に委託しております。）
一般財団法人 北陸経済研究所（担当 石崎） ☎ 076-433-1134
- 調査担当課
富山市 市民生活部 市民協働相談課 ☎ 076-443-2051

I 男女平等の意識について

問1 あなたは次のような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

		1	2	3	4	5	6
		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(記入例)		1	2	③	4	5	6
①	家庭生活	1	2	3	4	5	6
②	職場	1	2	3	4	5	6
③	学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④	政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤	法律や制度上	1	2	3	4	5	6
⑥	社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑦	自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5	6

問2 地域活動（自治会、町内会、PTA など）で、男女の役割分担などについて次のように感じたことがありますか。(いくつでも○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な役職には男性が就き、女性は補助的な役職に就く慣行がある 2. 女性自身が役職に就きたがらなかったり、発言しない（少ない） 3. 男性が女性を対等なパートナーとしてみていない 4. 女性が表に出るべきではないという雰囲気がある 5. 女性には発言の機会が与えられなかったり、意見が聞き入れられない 6. 日常の活動に男性の参加が少ない 7. 活動の準備や片付けなどは女性が行う慣行がある 8. その他（具体的に： _____) 9. 感じたことがない 	
--	--

問3 あなたは、男女共同参画に関する以下の言葉を知っていますか。
 (○はそれぞれ1つずつ)

		1	2	3
		言葉も内容も知っている	言葉は知っているが内容は知らない	言葉も内容も知らない
(記入例)		1	②	3
①	男女共同参画社会基本法	1	2	3
②	富山市男女共同参画プラン	1	2	3
③	DV 防止法	1	2	3
④	女性活躍推進法	1	2	3
⑤	女性支援新法 (困難な問題を抱える女性への支援に関する法律)	1	2	3
⑥	ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
⑦	アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	1	2	3
⑧	セクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)、マタニティハラスメント (妊娠・出産を理由にした働く女性への嫌がらせ)	1	2	3
⑨	デートDV (交際相手からの暴力)	1	2	3
⑩	SDGs (持続可能な開発目標) : 目標5 ジェンダー平等を実現しよう	1	2	3

II 家庭生活、育児、介護等について

問4 次の①～④の事柄について、あなたの家庭では、主に誰が担当しますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

		1	2	3	4	5	6	7	8
		夫	妻	夫婦 (同じ程度)	父親 (自分または配偶者の)	母親 (自分または配偶者の)	その他家族	利用 外部サービスを	該当しない
(記入例)		1	2	③	4	5	6	7	8
①	家事 (炊事・洗濯・掃除・買い物など)	1	2	3	4	5	6	7	8
②	育児 (子どもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4	5	6	7	8
③	介護 (親や家族などの介護)	1	2	3	4	5	6	7	8
④	地域活動 (自治会、町内会、PTAなど)	1	2	3	4	5	6	7	8

問5 あなたの一日における時間の使い方をお尋ねします。平日は①から⑤、休日は②から⑤のそれぞれの時間について、どのくらい使っていますか。30分単位で記入してください。
(たとえば、「1時間30分」の場合は、「1.5」とご記入ください)

		1	2
		平日	休日
(記入例)		1.5 時間	3.0 時間
①	収入を得ている労働の時間 (通勤時間を含む)	時間	
②	家事の時間 (炊事・洗濯・掃除・買い物など)	時間	時間
③	育児の時間	時間	時間
④	介護の時間	時間	時間
⑤	余暇の時間 (新聞・動画視聴・休養・趣味・社会活動など) ※睡眠や食事の時間は除きます	時間	時間

問6 あなたは、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、どう思いますか。
(1つだけに○)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

問7 あなたは、子育てと仕事についてどのように考えていますか。
(1つだけに○)

1. 子育ては女性の仕事だから、女性は職業をもたずに子育てに専念する
2. 女性は育児休暇制度などを活用し、乳児期は子育てに専念し、それ以降は子育てと仕事を両立させる
3. 子育ては女性中心で男性はできるだけ協力し、女性を働きやすくする
4. 子育ては女性にも男性にも重要なことだから、男女ともほぼ等しくかかわる
5. わからない

問8 現在、結婚すると、夫婦が同じ姓(名字)を名乗ることが義務づけられていますが、法律が変わり夫婦が別々の姓(名字)を名乗ることが選択できるとしたら、あなたはどのようにしたいですか。
(1つだけに○)

1. 夫婦で別々の姓にしたい(自分の姓は変えたくない)
2. 夫婦で同じ姓にしたい(配偶者には自分の姓を名乗ってほしい)
3. 夫婦で同じ姓にしたい(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい)
4. 夫婦で同じ姓にしたい(自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが、職場では旧姓を名乗りたい)
5. わからない

《子どもがいる方にお聞きします》

子どもがいない方は次のページ問11へ

問9 あなたは育児休業を取得しましたか。
(1つだけに○)

1. 取得した	2. 取得しなかった
---------	------------

問10 問9で「2. 取得しなかった」と回答した方にお聞きします。
取得しなかった理由は何ですか。
(1つだけに○)

<ol style="list-style-type: none">1. 配偶者（パートナー）が取得したから2. 休暇が取得しにくい職場の雰囲気（環境）だったから3. 勤務先には育児休業の制度がなかったから4. 取得する必要がなかったから（親に見てもらおうなど）5. 休業すると、その間収入が減るから6. 復帰後、昇給（昇格）への不安や仕事についていけるかなどの不安があったから7. その他（具体的に： _____)

《現在働いている方にお聞きします》

働いていない方は次のページ問14へ

問13 次の①～⑧について、職場の実態またはあなたの感じ方に近いものを1～5の中から選んで○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

		1	2	3	4	5
		1 そう思う	2 思う どちらかといえばそう	3 思わない どちらかといえばそう	4 そう思わない	5 わからない
(記入例)		1	2	③	4	5
①	採用や退職について、男女の差はなくなってきている	1	2	3	4	5
②	仕事の分担は、男女関係なく個人の適性に合った形になっている	1	2	3	4	5
③	同じ仕事の場合、男女同じように昇給・昇格している	1	2	3	4	5
④	男女は、同じように研修や訓練を受けている	1	2	3	4	5
⑤	育児休業制度が活用されるなど、妊娠・出産・育児などを支える制度、雰囲気がある	1	2	3	4	5
⑥	女性は責任が重くなるのを敬遠している	1	2	3	4	5
⑦	女性も管理職に就いて、経営方針や企画に積極的に関わっている	1	2	3	4	5
⑧	出産などにより一旦退職した女性が同じ職場に再雇用されている	1	2	3	4	5

《全員にお聞きします》

問 14 仕事と家庭生活等について、あなたが望ましいと思うのはどれですか。また、あなたご自身の実際の生活はいかがですか。
 (○はそれぞれ1つずつ)

		1	2	3	4	5
		仕事を中心にする	家庭生活等にも携わるが、あくまで仕事を優先する	家庭生活と仕事を同じように両立させる	仕事には携わるが、家庭生活等を優先する	家庭生活等を中心にする
(記入例)		1	2	③	4	5
①	望ましい男性のあり方	1	2	3	4	5
②	望ましい女性のあり方	1	2	3	4	5
③	あなたの実際の生活	1	2	3	4	5

問 15 男女がともに仕事と家庭を両立していくためには、企業等においてどのような取り組みが必要だと思いますか。
 (いくつでも○)

1. 就業労働時間を短縮する取り組み 2. テレワーク勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入する取り組み 3. 企業における上司や同僚など、周囲の意識を変える取り組み 4. 育児休業・介護休業制度を取得しやすい環境をつくる取り組み 5. 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的支援を充実させる取り組み 6. 地域の保育施設や保育時間の延長など、保育制度を充実させる取り組み 7. その他（具体的に： _____) 8. わからない

問 16 あなたは、過去5年以内に職場（アルバイト先を含む）や学校、地域の会合などで次のようなセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）をされたり、見たりした経験がありますか。
（いくつでも○）

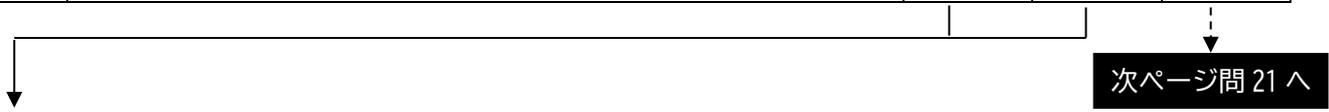
1. 服装や髪型に対する干渉
2. 顔や体型などの容姿に対するからかい
3. 男（女）のくせにという嫌み
4. でしゃばるなどと言われる
5. 性の話や冗談（猥談）
6. 酒宴の席でのお酌や接待の強要
7. 身体への不必要な接触
8. 職場（学校）などの地位を利用した交際の強要
9. その他（具体的に： _____)
10. 経験がない
11. 何がセクシュアル・ハラスメントかわからない

問 17 セクシュアル・ハラスメントをされたり、見たりしたとき、あなたはどうしましたか。
（経験がない方は「どうするか」に置きかえて回答してください。）
（いくつでも○）

1. 相手に直接抗議した
2. 上司や先生に相談した
3. 同僚や友人に相談した
4. 家族や親せきに相談した
5. 職場・学校内の相談窓口相談した
6. 職場・学校外の専門機関に相談した
7. 誰（どこ）にも相談しなかった
8. 誰（どこ）に相談したらよいかわからなかった
9. SNS（LINE、X、Instagram など）に投稿した
10. その他（具体的に： _____)

問 18 あなたは夫や妻、パートナー、恋人から次のような行為をされたことがありますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

		1	2	3
		何回もある	数回 (1~2回) ある	まったくない
(記入例)		1	②	3
①	殴る、蹴る、物を投げるなどの身体的暴力	1	2	3
②	大声で怒鳴る、脅す、交友関係や電話の監視などの精神的暴力	1	2	3
③	生活費を渡さない、金銭的な自由を与えないなどの経済的暴力	1	2	3
④	嫌がるのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しないなどの性的暴力	1	2	3



問 19 問 18 の①から④のうち、ひとつでも「1. 何回もある」または「2. 数回 (1~2回) ある」と回答した方にお聞きします。
その後、誰か (どこか) に相談しましたか。(いくつでも○)

1. 誰 (どこ) にも相談しなかった
2. 配偶者暴力相談支援センター (富山県女性相談支援センター) に相談した
3. 警察に相談した
4. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
5. 上記以外の公的機関 (富山市男女共同参画推進センター等) に相談した
6. 民間の専門家や専門機関 (弁護士・弁護士会、カウンセラー、カウンセリング機関、民間シェルター等) に相談した
7. 医療関係者 (医師、看護師等) に相談した
8. 学校関係者 (教員、スクールカウンセラー等) に相談した
9. 家族や親せきに相談した
10. 知人や友人に相談した
11. その他 (具体的に: _____)

問 20 問 19 で「1. 誰（どこ）にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。
相談しなかった理由はどのようなことですか。
(いくつでも○)

1. 誰（どこ）に相談したらよいかわからなかった
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると、加害者から仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思った
5. 加害者から「誰にも言うな」と脅された
6. 相談した相手に嫌なことを言われたり、不快な思いをさせられたりするかもしれないと思った
7. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った
8. 世間体が悪いと思った
9. 自分たち以外の人を巻き込みたくなかった
10. 知人や友人などに知られると、これまで通りの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思った
11. そのことについて考えたくない、思い出したくなかった
12. 自分にも悪いところがあると思った
13. 加害者の行為は愛情の表現だと思った
14. 相談するほどのことではないと思った
15. その他（)

《全員にお聞きします》

問 21 配偶者や交際相手との間で、相手から暴力を受けたときに相談できる窓口としてどのようなところを知っていますか。(いくつでも○)

1. 富山市男女共同参画推進センター（DV 相談専用電話）
2. 富山市こども福祉課（女性悩みごと相談）
3. 富山県警察本部（警察相談専用電話（相談 110 番））
4. 配偶者暴力相談支援センター（富山県女性相談支援センター）
5. 富山県民共生センター（サンフォルテ相談室）
6. 性暴力被害ワンストップ支援センターとやま
7. その他（)
8. 知っているところはない

《女性にお聞きします》 女性以外は次のページ問 24 へ

問 22 あなたは現在、次のようなことに関する悩みや困難を抱えていますか。
(いくつでも○)

1. 健康（こころ）
2. 健康（からだ）
3. 金銭的な問題（生活が苦しい、借金問題など）
4. 仕事のこと（就職、待遇など）
5. 離婚問題
6. パートナー（配偶者や交際相手）や家族からの暴力
7. 妊娠や出産
8. 子どもや子育てのこと
9. 親や親族のこと
10. 職場や地域での他者との関わり
11. 孤立や孤独
12. その他（具体的に： _____)
13. 悩みや困難を抱えていない

問 23 もしあなたが自身の置かれている困難な状況について相談するとしたら、どのような方法が最も望ましいですか。
(1つだけに○)

1. 気軽に立ち寄れる場所での相談
2. 支援機関（対面）
3. 自宅に訪問してもらう
4. 電話
5. メール
6. SNS（LINE、X、Instagram など）
7. AI チャットボット（人工知能を利用した自動応答プログラム）
8. 相談したり支援を受けたりしたと思わない
9. わからない
10. その他（具体的に： _____)

《全員にお聞きします》

問 24 能登半島地震をはじめとした近年の災害対応における経験から、日頃の防災活動や災害発生時の対応にも男女共同参画の視点が必要だと言われています。

今後、防災分野で男女共同参画の視点を活かすためには、どのようなことが重要だと思いますか。

(いくつでも○)

1. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組むこと
2. 防災分野の会議など意思決定の場に、より多くの女性が参加すること
3. 防災や災害現場での活動に必要な知識や技術をもった女性を育成すること
4. 災害に関する各種対応マニュアル等に男女共同参画の視点を取り入れること
5. 日頃から地域の男女共同参画を進めること
6. 避難所の管理運営に男女双方の意見を積極的に取り入れること
7. 備蓄品に男女双方のニーズを反映させること
8. 男女共同参画の視点を活かす必要はない
9. その他（具体的に： _____)

問 25 女性は、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。こうした問題の重要性について社会全体で認識し、理解を深める必要があります。

女性が、生涯を通じた健康を考える上で、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。

(いくつでも○)

1. 女性の健康に関する情報提供・相談体制の充実
2. 性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実
3. 更年期についての情報提供・相談体制の充実
4. 婦人科疾患（子宮がん、乳がんなど）などの検診受診の啓発
5. 子どもの成長と発育に応じた性教育
6. 特に必要なことはない
7. その他（具体的に： _____)

ご協力ありがとうございました。

もう一度、記入もれがないかご確認ください。
同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

今回の調査結果は後日、富山市の公式ウェブサイトで公表します。

過去の調査結果はこちら

<<https://www.city.toyama.lg.jp/kurashi/jinken/1010392/1004789.html>>

また、今回の調査結果を踏まえて男女共同参画に関する基本計画を策定し、富山市ウェブサイトで公表する予定です。

「第2次富山市男女共同参画プラン」、「後期実施計画」はこちら

<<https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/seisaku/1010738/1011468/1004782.html>>



(市民意識調査)



(基本計画)

男女共同参画に関する市民意識調査 報告書

令和7年11月 発行

富山市民生活部市民協働相談課

〒930-8510 富山市新桜町7番38号

TEL 076-443-2051

FAX 076-443-2176